



東京都知事選・選挙結果

宇都宮けんじさん、大健闘するも 84万票獲得で次点。



注一上位3位の候補の開票結果一

Table with 4 columns: Candidate Name, Party, Status, and Votes. Includes Kenji Utsunomiya (844,151 votes) and others.

7月5日投票開票の東京都知事選で、私たちが応援した日本弁護士連合会元会長の宇都宮健児候補は大健闘し、84万4千151票を得

票率13・8%を獲得するも現職の小池百合子氏に大差をつけられ、惜しくも次点に終わった。宇都宮さんは選挙戦で、自己責任よりの社会的連帯、支えあいが重視される社会を一緒につくること、コロナで仕事や住まいを失い、営業継続が困難となった人への支援策の実現を訴えて、共感を集めた。



河井克行副法相と妻家重参院議員(自派)の疑いで、東京地検(横濱)で逮捕された。

首相犯罪の闇、どこまで―河井夫婦・巨額買収の原資は?



河井克行副法相と妻家重参院議員(自派)の疑いで、東京地検(横濱)で逮捕された。

末期の安倍政権を包囲せよ であらめ政治の清算を



自民党から億単位の巨額の出資が、野党候補者や議員に提供されたことも判明している。

6/21 シンポ ―武委員長からのビデオレターも 見逃せない労働組合弾圧―



弾圧の背景と今後

6月21日、大阪市川口の学館館で「6/21シンポジウム」が、見逃せない労働組合弾圧」が(労働組合つづきの弾圧を許さない実行委員会)主催で開催された。

当日は会場への参加入場者を限定し、インターネットでの同時配信での視聴呼びかけも新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた新しい試みの開催であった。

長が後、続きは社民党(閣連)の大橋ゆづり(幹事)のコメントで、企業に働きかけを促すこと、企業に働きかけを促すこと、企業に働きかけを促すこと。

6/21 「関西生コン弾圧を許さない東海の会」総会に85名

6月21日、「関西生コン弾圧を許さない東海の会」総会が、東海地方の労働組合の連帯を呼びかける活動を行った。

各界識者の語る権力思惑とメディア発信

長が後、続きは社民党(閣連)の大橋ゆづり(幹事)のコメントで、企業に働きかけを促すこと、企業に働きかけを促すこと、企業に働きかけを促すこと。

2の現実つくるメディアへ 情報対策を―竹信美恵子さん

世間一般の人々は労働組合を解雇出来ておらず、労働組合に対する嫌悪感を持つている層も多い。権力はそれを活用している。

不法弾圧の実態明らか 市民への広範な発信活動

6月21日、「関西生コン弾圧を許さない東海の会」総会が、東海地方の労働組合の連帯を呼びかける活動を行った。

北海道でも「許さない準備会」が発足!

7月5日(日)13時から札幌市手稲区民センターで「関西生コン弾圧を許さない東海の会」北海道の準備会が発足した。

7月5日(日)13時から札幌市手稲区民センターで「関西生コン弾圧を許さない東海の会」北海道の準備会が発足した。





(下面より)

し家宅捜査をかけ、逮捕して... 閣生支部を差別政策闘争を...

権力の先兵役、マスコミの大罪

今回の弾圧は反動マスコミを使い共同作戦も実行され...

今回の弾圧は反動マスコミを使い共同作戦も実行され... 武 特別捜査隊や週刊誌...

暴対法適用、共謀罪視野 民主主義の根幹への攻撃

「これまでの弾圧に比べて他...」

武 今までは大体が公安関係が動いてきたが、組織犯罪...

私の逮捕理由が「尋ねね...」



闘いはこれから!!

「闘いはこれから!!」

武 第二次世界大戦のナチス... 共産主義者や資本主義を否...

武 特別捜査隊や週刊誌... 共産主義者や資本主義を否...

弾圧は友を呼び、関生の闘いを全国に広げた

「これまでの弾圧に比べて他...」

自己犠牲性いわず闘う 幹部組合員行動部隊を

「闘いはこれから!!」

コロナパンデミック禍... 時代が共生・協同の世界求める

「闘いはこれから!!」

「闘いはこれから!!」

3 反転攻勢へ

主体強化、揺るがぬ戦略 戦術は「水の如く」

「闘いはこれから!!」

# 沖縄の「自己決定権」

＜連載＞

## —その歴史と現在 4



伊波洋一（参議院議員・元宜野湾市長）

### 少女暴行事件とS.O.C.O合意

七二年の沖縄返還以後、日米両政府は、沖縄県民の基地負担軽減の声を無視し続けてきた。沖縄県の基地返還要求は棚晒しにされ、米軍の演習や訓練にともなう航空機騒音被害などの住民被害の米軍人・軍属による犯罪への対策もなされず、二年が過ぎた一九九五年九月に米海兵隊員三人による少女暴行事件が起こった。

### 沖縄の「自己決定権」をめぐる議論

日本政府が沖縄の声を無視し続けるなか、沖縄では「自己決定権」をめぐる議論が深められている。自己決定権をめぐって、これまでの日本への差別と対応を先住民への差別として是正させようとする動きがあり、国連の先住民族の権利を沖縄に適用させて過重な基地負担の軽減と沖縄固有の文化や言語を守らせようとする動きも出てきた。

普天間飛行場全面返還の条件とされた代替施設建設をめぐっての一九九六年、沖縄は揺れ続けた。一九九六年に辺野古移設は日米合意され、沖縄県知事も名護市長も同意して、政府は辺野古への新基地建設作業を進行している。しかし、辺野古建設される新基地は一九九五年に合意された普天間基地のへり部隊

日の名護市長選挙では辺野古移設に反対する稲嶺進氏が四〇〇票差の大差で再選された。同年一月の知事選は、辺野古新基地建設に反対する翁長雄志候補が二〇万票差で圧勝し、続く衆院選挙でも沖縄二区からの四区まで全小選挙区で辺野古新基地建設に反対する候補が勝利した。しかし、政府は辺野古新基地建設を強行的に進めようとしている。

最初の動きは、国連が先住民族の自己決定権を加盟国に求めることを促していることに対して沖縄に波及している。自己決定権をめぐって、これまでの日本への差別と対応を先住民への差別として是正させようとする動きがあり、国連の先住民族の権利を沖縄に適用させて過重な基地負担の軽減と沖縄固有の文化や言語を守らせようとする動きも出てきた。

編集部から「沖縄意見広告運動の全国世話人である伊波さんによる貴重な論文を全4回でお届けした。軍事基地反対にける沖縄県民の思いがどこから来たか？その歴史の淵源を探ると2014年に著されたものだが、今読み返してもおもしろい。地域によっては地域の民が決めるといって「自己決定権」その概念は、英国のEU離脱時にスコットランド住民の自治意識の高まりによる独立論なども新たな脚光をあびた。アメリカに隷従するだけの戦後保守、安倍自公政権の末期が近く、その理念は高らかに語られねばならない。

### 辺野古新基地建設に 反対する沖縄県民

普天間飛行場全面返還の条件とされた代替施設建設をめぐっての一九九六年、沖縄は揺れ続けた。一九九六年に辺野古移設は日米合意され、沖縄県知事も名護市長も同意して、政府は辺野古への新基地建設作業を進行している。しかし、辺野古建設される新基地は一九九五年に合意された普天間基地のへり部隊

「琉球民族」自らで、世界に平和と希望を

日米政府の押し付けける新基地絶対反対



「1995年少女暴行事件」に全沖縄が憤激した

### 「自己決定権」の金字塔を

結果も相次いでいる。辺野古新基地建設を止めることを公約して誕生した翁長県政は、県民のみの辺野古新基地反対運動に支えられながら、第三委員会による前知事の辺野古埋立て承認の検証を行ない、四つの最悪があるとする報告を受け取った。いよいよ沖縄県が日本政府

決定している「いつか」に新たな動きの特がある。これら三つの動きは対立するのではなく、一緒に公開シンポジウムを開催して県民への啓蒙に取り組んでいる。沖縄の自己決定権実現に向けた力となるだろう。

の辺野古新基地建設をストップさせる「辺野古埋立て承認の取り消し」を行なう時期が到来している。

四〇〇年前の島津氏の琉球

一終

いよいよ沖縄県が日本政府

結果も相次いでいる。

辺野古新基地建設を止める

ことを公約して誕生した翁長

県政は、県民のみの辺野古

新基地反対運動に支えられ

ながら、第三委員会による前

知事の辺野古埋立て承認の

検証を行ない、四つの最悪

があるとする報告を受け取

った。

いよいよ沖縄県が日本政府

決定している「いつか」に

新たな動きの特がある。

これら三つの動きは対立す

るのではなく、一緒に公開シ

ンポジウムを開催して県民

への啓蒙に取り組んでいる。

沖縄の自己決定権実現に向

けた力となるだろう。

の辺野古新基地建設をスト

ップさせる「辺野古埋立て承

認の取り消し」を行なう時期

が到来している。

四〇〇年前の島津氏の琉球

一終

いよいよ沖縄県が日本政府

結果も相次いでいる。

辺野古新基地建設を止める

ことを公約して誕生した翁長

県政は、県民のみの辺野古

新基地反対運動に支えられ

ながら、第三委員会による前

知事の辺野古埋立て承認の

検証を行ない、四つの最悪

があるとする報告を受け取

った。

いよいよ沖縄県が日本政府

決定している「いつか」に

新たな動きの特がある。

これら三つの動きは対立す

るのではなく、一緒に公開シ

ンポジウムを開催して県民

への啓蒙に取り組んでいる。

沖縄の自己決定権実現に向

けた力となるだろう。

の辺野古新基地建設をスト

ップさせる「辺野古埋立て承

認の取り消し」を行なう時期

が到来している。

四〇〇年前の島津氏の琉球

一終

いよいよ沖縄県が日本政府

結果も相次いでいる。

辺野古新基地建設を止める

ことを公約して誕生した翁長

県政は、県民のみの辺野古

新基地反対運動に支えられ

ながら、第三委員会による前

知事の辺野古埋立て承認の

検証を行ない、四つの最悪

があるとする報告を受け取

った。

いよいよ沖縄県が日本政府

決定している「いつか」に

新たな動きの特がある。

これら三つの動きは対立す

るのではなく、一緒に公開シ

ンポジウムを開催して県民

への啓蒙に取り組んでいる。

沖縄の自己決定権実現に向

けた力となるだろう。

の辺野古新基地建設をスト

ップさせる「辺野古埋立て承

認の取り消し」を行なう時期

が到来している。

四〇〇年前の島津氏の琉球

一終

いよいよ沖縄県が日本政府

結果も相次いでいる。

辺野古新基地建設を止める

ことを公約して誕生した翁長

県政は、県民のみの辺野古

新基地反対運動に支えられ

ながら、第三委員会による前

知事の辺野古埋立て承認の

検証を行ない、四つの最悪

があるとする報告を受け取

った。

いよいよ沖縄県が日本政府

決定している「いつか」に

新たな動きの特がある。

これら三つの動きは対立す

るのではなく、一緒に公開シ

ンポジウムを開催して県民

への啓蒙に取り組んでいる。

沖縄の自己決定権実現に向

けた力となるだろう。

の辺野古新基地建設をスト

ップさせる「辺野古埋立て承

認の取り消し」を行なう時期

が到来している。

四〇〇年前の島津氏の琉球

一終

いよいよ沖縄県が日本政府

結果も相次いでいる。

辺野古新基地建設を止める

ことを公約して誕生した翁長

県政は、県民のみの辺野古

新基地反対運動に支えられ

ながら、第三委員会による前

知事の辺野古埋立て承認の

検証を行ない、四つの最悪

があるとする報告を受け取

った。

いよいよ沖縄県が日本政府

決定している「いつか」に

新たな動きの特がある。

これら三つの動きは対立す

るのではなく、一緒に公開シ

ンポジウムを開催して県民

への啓蒙に取り組んでいる。

沖縄の自己決定権実現に向

けた力となるだろう。

の辺野古新基地建設をスト

ップさせる「辺野古埋立て承

認の取り消し」を行なう時期

が到来している。

四〇〇年前の島津氏の琉球

一終

いよいよ沖縄県が日本政府

結果も相次いでいる。

辺野古新基地建設を止める

ことを公約して誕生した翁長

県政は、県民のみの辺野古

新基地反対運動に支えられ

ながら、第三委員会による前

知事の辺野古埋立て承認の

検証を行ない、四つの最悪

があるとする報告を受け取

った。

いよいよ沖縄県が日本政府

決定している「いつか」に

新たな動きの特がある。

これら三つの動きは対立す

るのではなく、一緒に公開シ

ンポジウムを開催して県民

への啓蒙に取り組んでいる。

沖縄の自己決定権実現に向

けた力となるだろう。

の辺野古新基地建設をスト

ップさせる「辺野古埋立て承

認の取り消し」を行なう時期

が到来している。

四〇〇年前の島津氏の琉球

一終

いよいよ沖縄県が日本政府

結果も相次いでいる。

辺野古新基地建設を止める

ことを公約して誕生した翁長

県政は、県民のみの辺野古

新基地反対運動に支えられ

ながら、第三委員会による前

知事の辺野古埋立て承認の

検証を行ない、四つの最悪

があるとする報告を受け取

った。

いよいよ沖縄県が日本政府

決定している「いつか」に

新たな動きの特がある。

これら三つの動きは対立す

るのではなく、一緒に公開シ

ンポジウムを開催して県民

への啓蒙に取り組んでいる。

沖縄の自己決定権実現に向

けた力となるだろう。

の辺野古新基地建設をスト

ップさせる「辺野古埋立て承

認の取り消し」を行なう時期

が到来している。

四〇〇年前の島津氏の琉球

一終

いよいよ沖縄県が日本政府

結果も相次いでいる。

辺野古新基地建設を止める

ことを公約して誕生した翁長

県政は、県民のみの辺野古

新基地反対運動に支えられ

ながら、第三委員会による前

知事の辺野古埋立て承認の

検証を行ない、四つの最悪

があるとする報告を受け取

った。

いよいよ沖縄県が日本政府

決定している「いつか」に

新たな動きの特がある。

これら三つの動きは対立す

るのではなく、一緒に公開シ

ンポジウムを開催して県民

への啓蒙に取り組んでいる。

沖縄の自己決定権実現に向

けた力となるだろう。

の辺野古新基地建設をスト

ップさせる「辺野古埋立て承

認の取り消し」を行なう時期

が到来している。

四〇〇年前の島津氏の琉球

一終

いよいよ沖縄県が日本政府

結果も相次いでいる。

辺野古新基地建設を止める

ことを公約して誕生した翁長

県政は、県民のみの辺野古

新基地反対運動に支えられ

ながら、第三委員会による前

知事の辺野古埋立て承認の

検証を行ない、四つの最悪

があるとする報告を受け取

った。

いよいよ沖縄県が日本政府

決定している「いつか」に

新たな動きの特がある。

これら三つの動きは対立す

るのではなく、一緒に公開シ

ンポジウムを開催して県民

への啓蒙に取り組んでいる。

沖縄の自己決定権実現に向

けた力となるだろう。

の辺野古新基地建設をスト

ップさせる「辺野古埋立て承

認の取り消し」を行なう時期

が到来している。

四〇〇年前の島津氏の琉球

一終

いよいよ沖縄県が日本政府

結果も相次いでいる。

辺野古新基地建設を止める

ことを公約して誕生した翁長

県政は、県民のみの辺野古

新基地反対運動に支えられ

ながら、第三委員会による前

知事の辺野古埋立て承認の</

# コロナ・パンデミックの危機に立ち向かう

## オンライン講座が拓いた 労働学校の新地平

齊藤 日出治  
(大阪労働学校・アソシエ学長)

### 「知」の広域ネットワーク 大阪—愛知—東京で ON,OFF 両用の 広がりが



大阪と愛知や東京を結ぶネットワークで、労働運動や労働問題を超越して、日本および世界が直面する経済・社会問題、古典思想に照らした現在の危機の解決、フェミニズムの思想的探求、といった経済的・思想的・文化的な次元の課題を取り上げ、それらの課題が労働運動・労働問題と共振しながら、社会闘争の新たな地平を開示する道を模索しつつあります。

六月以降は、労働学校の対面講座も再開し、労働講座のもの見方・考え方は講座は教室現場での討論ができるようになり、オンライン・オフラインの両輪によるネットワークの広がりを目指しています。

オンライン講座のスタートは、労働学校のネットワークを押し広げただけでなく、労働学校の講座編成や講座内容にも、大きな転換をもたら

ました。四月以降の危機的状況を切り開いていくための講座をオンラインで開催しました。協同組合講座(斉藤準飛講師)・経済学講座(松尾匡講師)・武蔵野大学の資本論講座(白井聡講師)・フェミニズム講座(井上彼方講師)などがこれです。

オンライン講座のスタートは、労働学校のネットワークを押し広げただけでなく、労働学校の講座編成や講座内容にも、大きな転換をもたら

ました。四月以降の危機的状況を切り開いていくための講座をオンラインで開催しました。協同組合講座(斉藤準飛講師)・経済学講座(松尾匡講師)・武蔵野大学の資本論講座(白井聡講師)・フェミニズム講座(井上彼方講師)などがこれです。

オンライン講座のスタートは、労働学校のネットワークを押し広げただけでなく、労働学校の講座編成や講座内容にも、大きな転換をもたら

ました。四月以降の危機的状況を切り開いていくための講座をオンラインで開催しました。協同組合講座(斉藤準飛講師)・経済学講座(松尾匡講師)・武蔵野大学の資本論講座(白井聡講師)・フェミニズム講座(井上彼方講師)などがこれです。

オンライン講座のスタートは、労働学校のネットワークを押し広げただけでなく、労働学校の講座編成や講座内容にも、大きな転換をもたら

の開設以来、この関西生コン型の労働運動に学びつつこの社会闘争を理論的にも実践的にも発展させる道を追求してきました。

四月からのオンライン講座の展開は、本労働学校のこの課題をさらに深化し押し広げる新地平を切り開いていることをあらためて感じています。

弾圧跳ね返す連帯労組と連携、資本主義の危機を希望に向け突破する道へ

協同組合論は、プラットフォーム協同組合に焦点を当て、情報を集約的に独占するプラットフォーム資本主義のオルタナティブとして、オンラインで組織する協同組合の組織化の道を提起しています。

フェミニズム講座は、セクシュアリティと生命のありかたに向かい、その問題を労働世界の新たな創造と連関させて考える認識を深化

しつつあります。世界をどのように考えるのか、自然の身体と生命とどうかかわるのか、このよう

な思考と労働とのかかわりを問い直す営みが、オンライン・ネットワークの組織化を契機として進められつつ

あります。世界をどのように考えるのか、自然の身体と生命とどうかかわるのか、このよう

な思考と労働とのかかわりを問い直す営みが、オンライン・ネットワークの組織化を契機として進められつつ

あります。世界をどのように考えるのか、自然の身体と生命とどうかかわるのか、このよう

労働者自らが働きの場を作る  
労働者協同組合法案

会期末を境に6月12日、社会民主党、立憲民主党、国民民主党、日本共産党、自民党、

労働者協同組合とは、組合員が自ら出資し、組合員の意見を反映し、組合員が行い、組合員自らに従事することを基本原則とする団体。

現在日本では、労働者が出資し事業を行う法人形態は、労働者協

同組合は他の法人形態活用しながら、介護、福祉や子育て支援など広域のニーズに応じ取り組んでおり、推進10人

の署名がいらることで、同法案が制定されれば、働く者が連帯で自ら受け皿を作り、仕事を

作りたい労働者協同組合が法人化され、組合員との間で労働契約の締結義務とするなど、組合員の労働性も担保される根拠法の実現となる

こと、労働学校が担う新しい歴史的使命を実感することになります。

武蔵野長と湯川副委員長が社会復帰した現在、労働学校は、連帯労組の新たな連携の地盤を築きつつ、資本主義の破局的な危機の状況を未来の確信に向けて突破する道を確信しつつあります。

武蔵野長と湯川副委員長が社会復帰した現在、労働学校は、連帯労組の新たな連携の地盤を築きつつ、資本主義の破局的な危機の状況を未来の確信に向けて突破する道を確信しつつあります。

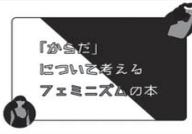
### <告知>大阪労働学校活動報告

メンバーの手で「からだ」について考える

フェミニズムの本を出版へ

20代編集チームによる出版プロジェクト

20代の編集者チームが、フェミニズムの主要なテーマでもある「からだ」に焦点を当てた本をつくります。皆が持つ共感や違和感について識者や現場で活動する人々、若い方々と共に考える本になります。ぜひ本書の出版をご支援ください。



私たちは、社会評論社から「月歩双書」というシリーズを刊行している20代の編集者による独立した編集チームです。私たちが生きる社会や制度、思想そして生き方について考える本とウェブサイトを製作しています。2019年10月には、創刊号として28歳の編著者・斎藤準飛による『プラットフォーム新時代 ブロックチェーンか、協同組合か』を刊行しました。社会評論社から発売され、Amazonでは「情報社会」の新着ランキング1位を獲得、全国の書店の店頭で販売されています。

12月には明治大学で出版記念イベントを開催し、65名の参加者が集まりました。第2号となる次号では、25歳の編著者・井上彼方によるフェミニズムをテーマにした特集を企画しています。若い編集者たちの感性で、運動や仕事の現場で日々をいきる方々、世界と向き合いリサーチを続ける識者の方々の声を集めます。少しでも多くの方の共感と違和感を言葉にできるような素敵な本をつくります。

編著者と筆者について

井上彼方/1994年生まれ。SFウェブメディアVg+(バゴプラ)に書評等を掲載。趣味は読書、写真撮影、猫と遊ぶこと。初めて読んだフェミニズムの本はジュディス・バトラーの『ジェンダー・トラブル』。今回、筆者には今現在フェミニズムの活動や研究に取り組んでいる方々を集めていただきます。特に、現役で活動され、実際に直面している事柄から問題提起を行い、広く発信されている方が中心の構成になります。



### 「からだ」について考えるフェミニズムの本を出版したい

今回出版する本では、フェミニズムのオーソドックスなテーマの一つでもある「からだ」に焦点を当てます。「私のからだは私のもの」ではなく、実際はそうじゃないよね」ということ、「じゃあどうしたら私のものものになり、思い通りにならないなりに折り合いをつけながら生きていけるのだろう」ということを、様々な立場の人の声を通して考えていきます。

多くの人が一度は考える「私のからだ」について、様々な角度から考えるために、識者や現場で活動する人々、若い方々の声を集めた書籍に予定しています。フェミニズムがより多くの人の力にのなるように、トランスジェンダーの人々やセクスイスワーカーの人々、それ以外の多くの人々にとっても意義のある内容を目指しています。

前回刊行したものとと同じく全160ページで制作し、全国の書店に並びます。

#### ○予定している内容

- ・トランスジェンダーとフェミニズムについて
- ・セクスイスワーカーが直面する「私のものじゃないさ」について
- ・ファッションを通して自分のからだに肯定感を持てるようになること
- ・若い人たちが日々をどうやって生きているのか
- ・表象において、被写体が主体性を発揮するとどうということか

#### プロジェクトのスケジュール

- 3月~7月:原稿集め(既に取り組んでおり、順調に進んでいます)
- 8月:最終校正を行い、出版社(社会評論社)へ入稿。
- 9月~10月:宣伝期間、組版後のチェック。Amazonに掲載。リターンの本編未収録原稿の送付。
- 11月:刊行、書籍が書店に並び、リターンの書籍の発送開始。
- 12月:刊行記念イベントを開催、リターンの出張講座実施。

#### クラウドファンディングに取り組む理由

今回クラウドファンディングで資金を集めたいと考えた理由は、筆者の方々にしっかり謝礼をお支払いすること、筆者と直接会ってお話しなどクオリティを高めていくための経費を確保したいと考えたからです。高い目標を掲げながら、誰かを賭け台にしてそれを達成するようなプロジェクトや、少数の人たちが勝手に作り上げるプロジェクトではなく、それを求める皆の力で実現するプロジェクトにしたいと思っています。

#### <中略>

#### サックスカード/本

社会評論社とは新書を刊行する契約を結んでいるため、本の発行は確実に行います。

既に一部の執筆者・取材協力者の方々からは、この本づくりにへの参加について承諾をいただいています。ご支援いただいた方にはこの秋(11月頃)に確実にお手元に書籍が届きます。

#### 本にスペシャルサックス掲載(希望者)

希望者の方は、完成した本のスペシャルサックスにお名前を掲載させていただきます。

本屋さんにも並ぶ書籍に、このプロジェクトの実現をサポートした支援者として名前を載せてみませんか?

#### イベント招待

本を刊行した後は12月に東京で刊行記念イベントを開催します。

飲食費など追加の料金はなく、大学等を利用したシンポジウム形式のイベントを予定しています。

前号では明治大学で執筆者やテーマに関連した識者を招いたイベントを実施し、65名の参加者が集まりました。

イベント後にはソーシャルの時間を設け、本のテーマに関心のある方が繋がるとも有意義な時間となりました。

※団体の方向けには、出張講座をリターンとして設定しています。刊行イベントとは別に、個別の出張講座に伺います。様々な筆者・取材相手と対話を重ねた編著者・編集者が可能な限りご要望に応じた内容をお話します。

